

学校通信 R4.6.30 7月号

中一小だより



中郷第一小学校
電話 42-4000
児童数 467名

平和への祈りを込めて

校長 菊地 恵美子

いよいよ7月から、体育館の改修工事が始まります。子供たちは、壊される前の体育館にこれまでの感謝の気持ちを込めて、ありがたいのメッセージを残しました。3月の卒業式は、新しい体育館で行う予定です。子供たちと共に、楽しみに待ちたいと思います。

さて、今年度は、3年ぶりに北茨城市戦没者追悼式が開催されます。平和学習の一環として、市内各小・中学校の代表の児童・生徒も出席し、献花を行います。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が続いている今、児童・生徒に平和の大切さを伝える意味はとても大きいです。

北茨城市では、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前は、小学校5・6年生を対象に広島を訪れ、8月6日の平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学等、戦争と平和について考える「ヒロシマで学ぶ平和への旅」を実施しておりました。この3年間は実施できていませんが、昨年度と今年度は、「原爆の子の像」に捧げる折り鶴を市内各小・中学校の児童・生徒（小学4年生～中学3年生）が折って、千羽鶴にして広島に届けていただきます。平和学習と併せて行い、子供たちが平和について考える大切な機会としたいと思います。

6月23日は「沖縄慰霊の日」でした。沖縄全戦没者追悼式では、小学2年生の児童が自作の詩「こわいをして、へいわがわかった」を朗読しました。家族と宜野湾市の佐喜真美術館を訪れ、丸木位里、俊夫妻の絵画「沖縄戦の図」を見た時、急に怖くなった経験をもとに書きました。

「前略・・・へいわってなに？ きゅうにこわくなって おかあさんにくっついた あたたくてほっ とした これがへいわなのかな おねえちゃんとけんかした おかあさんは二人の話を聞いてくれた そして仲なおり これがへいわなのかな・・・後略」。

素直な思いに共感するとともに、3年前の広島平和記念式典で小学6年生が読み上げた「平和への誓い」を思い出しました。

『ありがとう』や『ごめんね』の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子供にもできることです。」

自分たちの周りから平和を築くことが、世界を平和にすることの第一歩なのだということを、これからも子供たちに伝え続けていきたいです。

さて、残り3週間で夏休みになります。コロナ禍はまだまだ続きますが、熱中症予防と共に、密を避け、感染防止に努めながらも、充実した夏休みになることを願っています。

サツマイモ苗植え（1・2年生）



6月14日（火）に、毎年実施しているサツマイモの苗植えを、1・2年生が行いました。慣れない作業でしたが、みんなで協力して活動することができました。

校外学習（5年生）

6月7日（火）と8日（水）に5年生が校外学習を実施しました。学校では見ることができない友人の新たな姿を発見したり、見学や体験を通して実感を伴った理解につなげたりと、充実した学習となりました。



音楽鑑賞会

6月15日（水）に実施した音楽鑑賞会では、目を輝かせながら演奏に聞き入る児童の姿がとても印象的でした。児童にとって本物に触れることができる貴重な学びの場を、今後も設定できればと思います。



7月・8月の行事予定

期日	予定	期日	予定
4 月	学期末5時間授業～8日（金）	21 木	教育相談～22日（金）、
13 水	補充学習③、SC来校 学校評議員会		25日（月）～27日（水）
			8月
14 木	クラブ活動③	19 金	全校登校日
20 水	1学期終業式、5時間授業	20 土	P T A奉仕作業

